DREAM CUPソーラーカーレース鈴鹿　試走会

初出場となるDREAM CUP ソーラーカーレース鈴鹿。8月5日から行われるレースに向けて27日試走会に参加してきました。全日本学生ソーラーカーチャンピオンシップ（Japan Intercollege Solar car Championship :JISC）が行われる秋田県大潟村のソーラースポーツラインは、直線が主体です。鈴鹿サーキットでは、F１やその他のカテゴリーのレーシングカーが走る厳しいコースです。車体にかかる負担は秋田と比べると鈴鹿サーキットでは数段、大きくなります。また、ドライバーの経験値も順位に大きく左右されるので今回の走行会で十分な車体データとドライバーの経験を積ませることが目的となります。

鈴鹿に向けた車体の改良は大幅に予定を遅れ作業は難航しました。改良点は車体ではフロント、リアのサスペンションユニットの強度向上と電装、計器では、リチウムイオンバッテリ、キャパシタとシステム電圧の変更とモータの仕様変更があります。特にリチウムイオンバッテリの使用は、鉛バッテリとは特性が異なり、危険が伴うため十分な注意が必要となります。

フロントサスペンション(左)、リアサスペンション(中央)、IRC ダンロップ

車体配線(左)　鈴鹿用MITSUBAモータ(中央)　リチウムイオン電池(右)

試走会当日の27日午前4時、円形食堂を出発。作業が遅れてしまい、疲労と不安を抱えた状態で鈴鹿に向けて 出発しました。 試走会に参加するメンバーは現役メンバーに加え、木村先生と本体チームのメンバーだった木村研究室の佐川さん。 そして、OBから鈴鹿ドライバーの菊田さんと4年生の照山さん、三田さん。ピットでのバックアップに藤田さん、 折原さんが参加してくれました。

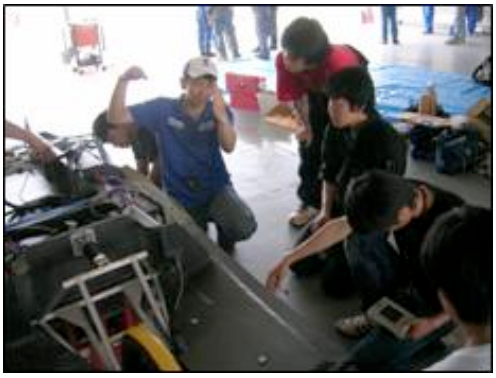
途中のPAで休憩。ここから鈴鹿へ一気にGo!

到着したのは、午前8時過ぎ。すでに他のチームはピットで作業をしており、

私たちは東海大学付属翔洋高等学校と同じピットに入りました。ピットについてすぐに車体の整備に入りました。

ピット裏(左)とピット内(右)の模様

試走会の日程は午前8:00〜9:00に受付、9:30〜11:30午前の練習走行、13:30〜15:30が午後の練習走行となります。各2時間のセッションがあります。セッションが始まる前には、ドライバーを乗せ、バスによるコース下見を行うことができます。ドライバーの菊田さん、照山さん、三田さんはこのバスに乗り、コース下見を行いました。さらに木村先生による各コーナーでの車体操作と注意点の説明を行いました。



木村先生によるコース説明

整備を行い、午前のセッションに車体を走らすため作業を行いましたが、ブレーキの油圧内の空気が抜けず、ブレーキの効きが悪くなっていました。また、車体配線の中で回路上の接続を間違え、電装系の一部が誤作動を起こしてしまいました。車体、電気ともにトラブルに見舞われてしまい、午前、午後のセッションを走ることができませんでした。

ブレーキ油圧内のエア抜き

車体配線の誤りによる誤作動

本選を前にした試走会では、鈴鹿サーキットを走ることなく終わることになってしまいました。車体の走行時のデータとドライバーのコース走行経験を積ませることが今回の目的でしたが、準備不足により車体を走らせることが出来ませんでした。

反省点はいろいろとありますが、本選のレースでは今回のトラブルに見舞われることなく、無事に走らせることができるようにしなければなりません。そのためにも残りの期間をレースに向けた準備を行うのと同時にレース中のトラブルにも対応できるよう対策を立てなければなりません。